



# 大砂土中だより

はつ らつ

# 澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

http://osato-j.saitama-city.ed.jp

No.5 令和6年8月30日号

## 『自己信頼』

校長 倉林 弥生

長かった39日間の夏休みも終わり、2学期がスタートしました。始業式で、皆さんにまた会えたことを大変嬉しく思いますし、元気に学校生活を再開できることは、大変ありがたいことだと思っています。保護者の皆様並び地域の皆様の御協力に、改めて感謝申し上げます。

夏休み中に開催された市の夏季体育大会では、野球部が準優勝しました。目標に向かって全部員の心を一つにして、練習に励んだ結果の表れであると思います。今後の活躍に、大いに期待をします。また、県学校総合体育大会では、柔道部と女子ソフトボールテニス部が、全力を尽くして試合に臨みました。猛暑の中、ひたすら練習に打ち込み、頑張ったことは、今後の人生において、大変貴重な経験となったと思います。

文化部では、吹奏楽部が県吹奏楽コンクール地区大会で銀賞を受賞し、練習の成果を発揮することができました。保護者の皆様には、御多用の中、御来場いただきありがとうございます。

さて、この夏は、パリ五輪の日本人の活躍に一喜一憂した夏だったのではないのでしょうか。夜中から早朝までテレビ観戦した人も多かったことと思います。私も胸を躍らせ、時間があればテレビの前にはいました。結果、日本は、金20個、銀12個、銅13個、計45個のメダルを、多くの種目で獲得しました。

このような4年に一度の世界の大舞台で、想像を絶する緊張感と追いつめられた状況の中、立ち向かう選手を奮い立たせるものは、いったい何なのでしょう。それは、絶対に技術の習得だけでは培われないものです。おそらく最後は、「厳しい練習を積み重ねたのだから、どんな状況下でも力を発揮できる!」「絶対に自分は大丈夫だ!」と自分を信じる、『自己信頼』なのだと思います。

2学期は、1年間の中で最も授業日数が多い学期です。たくさんの行事や取組も行われ、学習時間が増えます。いわば、あらゆることに挑戦できる時間があり、自分を磨くチャンスがたくさんあるということです。

生徒の皆さん一人ひとりが、『自己信頼』をどれだけ付けることができるのか。まずはこれらのチャンスを活かし、色々なことに挑戦してみてください。きっと苦しい時や逆境に立った時に大きな力となっていることでしょう。皆さんの頑張る姿を見守りながら、日々成長していく姿を見るのを楽しみにしています。

以下の詩は、詩人の高田敏子さんの「忘れ物」です。過ぎ去ってしまった夏休みを名残惜しみつつ、2学期へ気持ちを少しずつ切り替えていきましょう。

### 忘れ物

入道雲にのって 夏休みはいつしまった  
「サヨナラ」のかわりに 素晴らしい夕立をふりまいて  
けさ 空はまっさお 木々の葉の一枚一枚が  
あたらしい光とあいさつをかわしている  
だがキミ! 夏休みよ もう一度 もどってこないかな  
忘れものをとりにさ  
迷い子のセミ さびしそうな麦わら帽子  
それから ぼくの耳に くっついて離れない波の音



毎月、本校職員の大湊先生に毛筆で詩を書いていただいています。職員室に繋がる階段の踊場に紹介した詩が現在、掲示されております。